

防火・防災管理業務実施計画書

この防火・防災管理業務実施計画書は、管理権原の及ぶ _____ (事業所名) 部分について定めるもので、当事業所の防火(防災)担当責任者 _____ 及び従業員は、「消防計画」に基づき、下記事項を適正に実施するものとする。

1 防火(防災)担当責任者は、概ね次の項目について、毎日自主検査を実施する。

- (1) 廊下、階段に避難障害となる物品を置いていないか。
- (2) 防火戸の周囲に閉鎖障害となる物品を置いていないか。
- (3) ガス器具等のホースに劣化・損傷はないか。
- (4) 電気器具の配線に劣化・損傷はないか。
- (5) 電気器具はタコ足配線となっていないか。
- (6) たばこの吸殻の処理は適切か。
- (7) 終業時に火気の確認は行ったか。
- (8) その他 _____

2 火災等の災害発生時は、下記の表に基づき行動する。



3 建物内の他の部分から火災等の災害が発生した場合は、防火(防災)管理者の指揮の下に相互に連絡・協力して自衛消防活動を行う。

4 防火・防災教育

防火担当責任者は、「防火・防災の手引き」などを作成し、必要な都度、従業員等に教育を行う。

5 訓練

消防計画に定められた訓練に積極的に参加する。

6 休日・夜間等に火災等が発生した場合の緊急連絡先

氏名 _____ 電話番号 _____

7 震災時に従業員等が安全に待機できるよう施設内待機場所を確保する。

施設内待機場所： _____

8 震災時の従業員等の一斉帰宅を抑制し、施設内での待機を維持にするため、次の物資を備蓄する。

備蓄場所	備蓄品 (1人分／日の備蓄量)	一人／3日分の備蓄量
階段	食料品	アルファ化米（3食分）
		乾パン（1缶）
		缶詰（3缶）
	飲料水	ミネラルウォーター（3リットル）
	救急医療薬品	消毒液、ばんそうこう
	要配慮者	簡易ベット、簡易間仕切
	その他物資	毛布、保温シート
		簡易トイレ
		携帯ラジオ
		懐中電灯（乾電池）

9 震災時における帰宅困難者の発生防止するため、次のとおり時差退社を計画する。

優先順位	家庭内事情	氏名	自宅住所	帰宅ルートの概要	距離	帰宅グループ
			連絡先	主要路線		開始時刻
				通常の通勤経路		到着時刻

10 管理権原の範囲及び避難経路図

